

(仮称)品川区立環境学習交流施設の検討状況について

1. 展示計画の状況 ～「わ！と見て・体験できる学びの機会をつくりだす」の具現化に向けた検討～

1 大型映像装置による展示

映像展示室

小学生と未就学児の来館時間に合わせ、対象年齢別のコンテンツを設定
▶無駄のない運用と集客・利用率の向上を目指す

■小学生以上向けメインコンテンツ（環境への興味を高める）

目的・効果

自分の行動を通して「都市」と「自然」のバランスを考える

運用時間案

平日：14時～閉館まで
土日・休日：下記未就学児向けコンテンツの運用時間と区分調整



時間と対象で切り替える

■未就学児向けコンテンツ（単純でわかりやすい）

目的・効果

未就学児と保護者で楽しみながら動植物を大切にすることを育む

運用時間案

平日：開館～14時まで
土日・休日：上記メインコンテンツの運用時間と区分調整

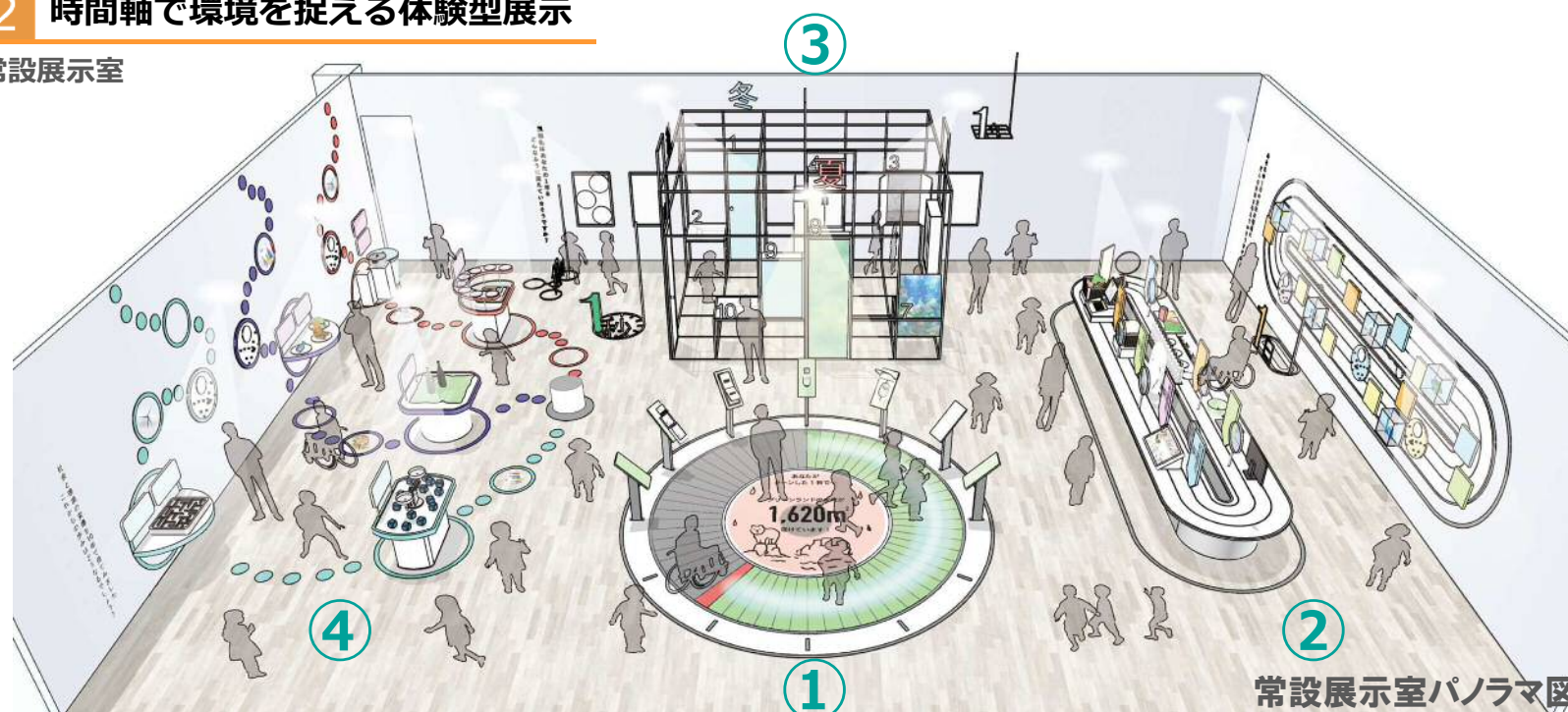


▲体験例

- ①植物の蕾に触れると花が開く
- ②動物に触れると餌を食べる・集まる

2 時間軸で環境を捉える体験型展示

常設展示室



① 1秒の変化に驚く

1秒間の動作の間に行っている世界の環境変化や地球温暖化の影響、1秒間で簡単にできる行動を学ぶ。

<動作例>
「一回転ターンをしてみよう」



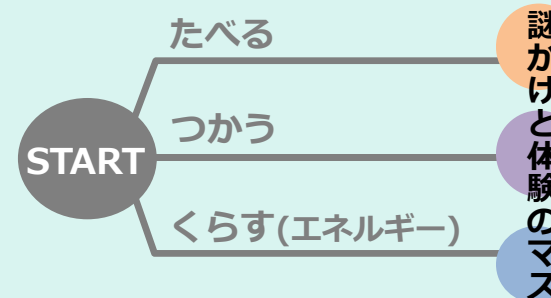
② 1日の生活を見つめる

1日の生活を通して、ごみ処理や食品ロスなど、身近にある環境課題と地球温暖化対策につながる行動を学ぶ。

④ 10年単位で変化する社会を俯瞰する

すごろくをモチーフにした展示で、私たちの生活の変遷を辿りながら、環境と共存する暮らしのヒントを学ぶ。

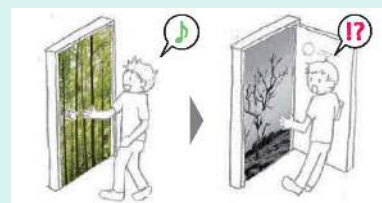
<展開例>
人と社会の歩みを3つの視点で体験する



③ 1年の中で温暖化を実感する

年間の各月の身近な風景を通して、地球温暖化による環境への影響を知る。

<アイテム例>
美しい風景が、ドアを開けると荒廃した姿になっている



3 自ら答えを出す参加型展示

メッセージ展示室

展示を通じての感想・気持ちをメッセージや絵など、簡単な方法で発信する



2. 開設準備の状況 ～「地域とともにある施設」に向けた検討～

■近隣商店街等との協議を開始

ニーズの把握・開設後の連携について協議中

■近接する大崎高校・戸越小学校との協議を開始

開設前後のイベント等連携について協議中

■運営事業者候補者と協議中

災害時の施設機能・役割分担
飲食提供の仕組み
講座計画、ボランティア計画、広報計画

等

3. 今後のスケジュール(予定)

令和2年 12月17日(木)	工事説明会
令和3年1月	展示物製作・設置業務委託契約
4月	施設愛称公募
令和4年2月	建物竣工
3月	展示物検査完了
4月	開設